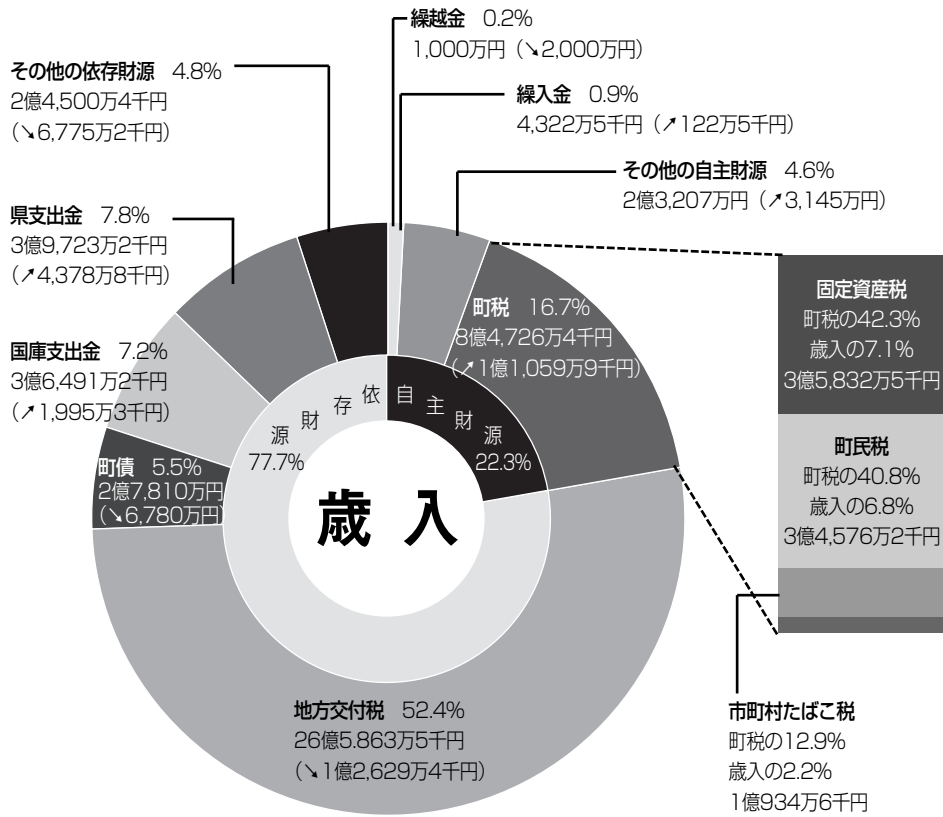
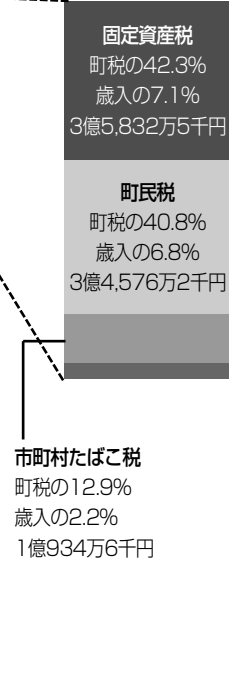


対前年度 1億1,949万7千円減額



歳入

今年度の当初予算は前年度と比較して一億千九百四十九万七千円(約2・3%)の減額となりました。地方交付税などの依存財源は一億九千八百五十万五千円の減額となりますが、今年度は町民税の税率が一律10%に改正されるため、自主財源である町税の歳入は約一億円ほど増える見込みです。



※カッコ内は対前年度の増減額です
『↑』は増、『↓』は減を表わしています

項目	金額
歳出 【目的別】	
総務費	39,872円
民生費	98,721円
衛生費	31,062円
農林水産業費	20,233円
土木費	25,018円
消防費	23,913円
教育費	31,496円
公債費	51,010円
その他	13,776円
歳出 【性質別】	
人件費	73,591円
扶助費	52,520円
公債費	51,010円
普通建設事業費	15,641円
物件費	37,757円
補助費等	47,058円
繰出金	47,388円
その他	10,136円
歳入	
町税	55,929円

※平成19年3月31日現在 (15,149人) で計算

『歳入』用語の解説

自主財源 … 町が自主的に収入し得る財源

依存財源 … 国、県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入

町税 … 皆さんから町に直接納めていただく税金

線入金 … 町が自主的に収入し得る財源

線越金 … 前の会計年度から次の会計年度へ持ち越したお金

地方交付税 … 国から町に交付されるお金。国税のうち所得税や法人税、たばこ税、酒税、消費税が町の財政力に応じて交付

国庫支出金 … 国庫補助事業など、特定の目的の事業の財源となる国の補助金など

県支出金 … 県補助事業など、特定の目的の事業の財源となる県の補助金など

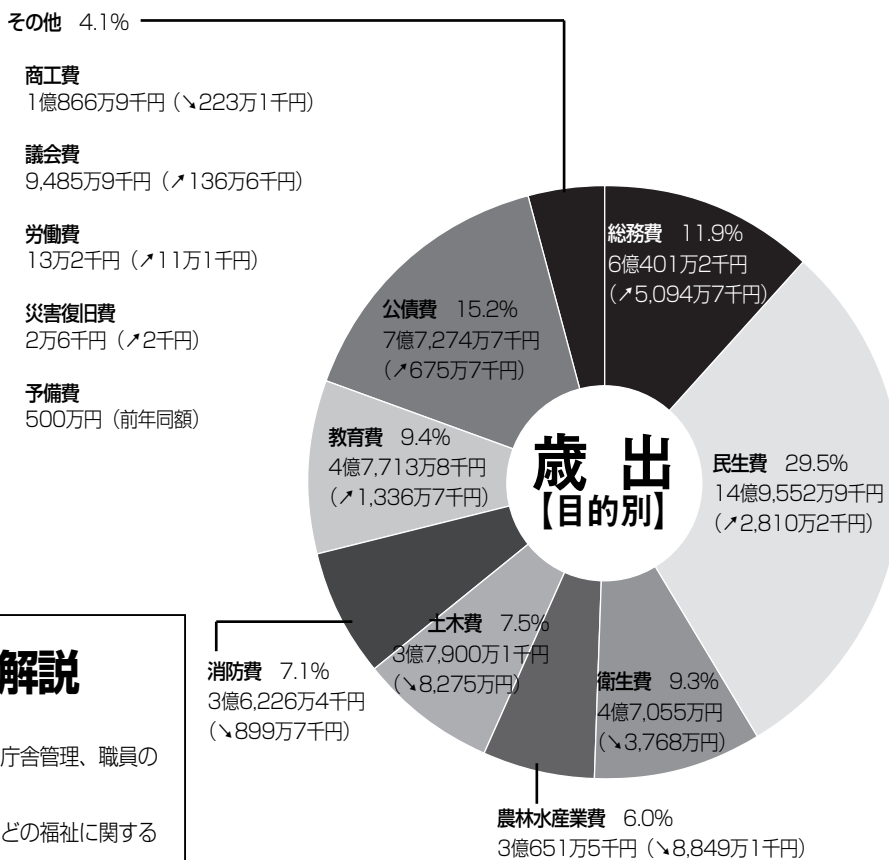
町債 … 事業を行うために町が計画的に借りるお金

平成19年度当初予算 一般会計

50億7,644万2千円

歳出

歳入の減額に伴い、すべての事業を見直し、必要な事業だけを厳選して行わなければならない状況となっております。前年に引き続き、農林水産業費と土木費の減額が一番大きく、合わせて一億七千二百一十四万一千円の減額となっております。



『歳出』用語の解説

- 総務費**… 選挙や戸籍、徴税、町の庁舎管理、職員の給与などの経費
- 民生費**… 高齢者や障害者、児童などの福祉に関する経費
- 衛生費**… 各種検診や予防接種、ごみ処理などの経費
- 農林水産業費**… 農林水産業の振興、農業用道路や水路の整備、農村環境整備などの経費
- 土木費**… 町道や河川の整備、町営住宅の管理、除排雪などの経費
- 消防費**… 五所川原地区の消防事務組合の負担金や消防団員の報酬、消防機器の管理などの経費
- 教育費**… 小中学校の管理、社会教育、生涯学習・体育の振興、文化財保護などの経費
- 公債費**… 町の借金である町債を返済するための経費
- 人件費**… 町議会議員などの報酬、職員の給与、地方公務員共済組合負担金などの経費
- 扶助費**… 事情により生活や就労、就学が困難な人々を支援するための経費
- 普通建設事業費**… 道路や橋、学校、公共施設などの建設に要する投資的な経費
- 物件費**… 賃金や旅費、需用費、委託料など消費的性質の経費
- 補助費等**… 産業や文化の発展のため、また公益上必要と認められた場合に支出される補助金など
- 繰出金**… 一般会計と特別会計、もしくは特別会計相互間で繰り出される支出

